FID用エアー清浄装置
AOE2300/AOE2700

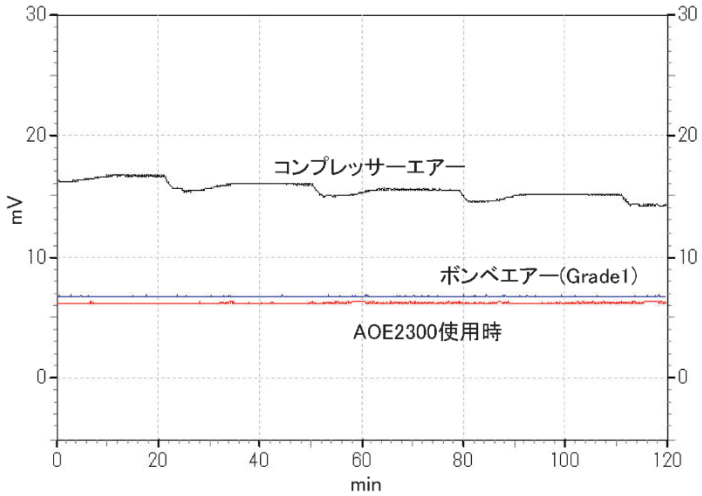
AOE2700　　AOE2300

FIDの高感度分析に
コンプレッサーエアー使用可能

- **FID検出器の汚染を防止**
- **反応管加熱ヒーターに過昇温防止機能を搭載**

GC-FIDの助燃ガスにコンプレッサーエアーを使用すると、バックグラウンドが上がり、コンプレッサーのON-OFFに同期したベースラインの変動が起こるため、キャピラリーカラムなどの高感度分析が難しいのが実情です。
このバックグラウンドの上昇やベースライン変動の原因は、圧縮空気に含まれる炭化水素の影響です。
AOEシリーズで処理したコンプレッサーエアーは、高純度ボンベエアー並の炭化水素濃度を実現します。ボンベエアーを購入することなく高感度分析が可能になるため、ランニングコストを低減できます。

ベースラインの比較

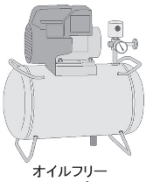


System	: GC-4000
Col.Temp.	: 80 ℃
Detection	: FID 150 ℃
H_2流量	: 35 mL / min
Air流量	: 250 mL / min
MakeUp Gas	: N_2 30 mL / min
Renge	: 10^0

比較対照ボンベエアー
Pure Gas Air Grade1 : THC 0.1 vol.ppm 以下

ジーエルサイエンス株式会社

接続例



オイルフリー
エアーコンプレッサー

圧縮空気清浄化機器
・フィルター
・エアードライヤー
・レギュレーター　など

※清浄化機器については、AOEシリーズの設置環境などにより、変わってきます。
最寄りの支店または営業所にお問い合わせください。

ちり、ほこり、油分、水分を除去した乾燥空気

FIDエアー清浄装置
AOE2300 / AOE2700

炭化水素が低減された圧縮空気

ガスクロマトグラフ　GC-4000(FID)

仕様

型　式	AOE2300	AOE2700
供給ガス	ちり、ほこり、油分、水分を除去した乾燥空気	
最大空気流量	2 L/min	10 L/min
供給空気圧力範囲	50～800 kPa	
圧力損失	0.7 kPa (最大流量時)	0.6 kPa (最大流量時)
供給空気最高温度	35 ℃	
炭化水素処理能力	Max.100 ppm (as methane)	
スタートアップ時間	約20分	約45分
安全機能	ヒーター過熱防止回路	
配管接続口径	O.D.1/8インチ チューブ接続	Rc 1/4
環境温度	5～40 ℃	
環境湿度	～85 %RH(ただし、結露しないこと)	
外形寸法	160(W)×380(D)×143(H) mm	200(W)×400(D)×460(H) mm
質量	約4 kg	約14 kg
電源	AC100 V 50/60 Hz ±10 %　3 A	AC100 V 50/60 Hz ±10 %　4 A
Cat.No.	2702-19230	2702-19270
価格	230,000	490,000

AOE専用メンブレンドライヤー

AOE2300/AOE2700は、処理する圧縮空気中の水分が多いと炭化水素除去効率が低下します。AOE専用メンブレンドライヤーは、冷凍機などで乾燥させた圧縮空気をさらに乾燥させることができ、炭化水素除去能力を向上させることができます。

注）メンブレンドライヤーは、空気を乾燥させるため、圧力に応じ一定流量の乾燥空気が常時パージ側に流れる構造となっています。使用乾燥空気量以上に圧縮空気がメンブレンドライヤーに入気しますので、あらかじめご了承ください。
詳しくは、http://www.gls.co.jp/product/catalog/07/24_a.htmlをご覧ください。

品　名	Cat.No.	価　格
AOE2300専用メンブレンドライヤー	3001-17701	85,000
AOE2700専用メンブレンドライヤー	3001-17700	104,000

⚠ **設置環境についての注意事項**
コンプレッサー周辺の大気環境に注意してください。
コンプレッサーエアーに硫黄化合物やハロゲン系有機溶媒が含まれている環境では、AOEシリーズの炭化水素除去管内で強酸性物質が生成され、本機および本機から圧縮空気を供給する分析機器、配管類の故障の原因となるため使用できません。

GL Sciences ジーエルサイエンス株式会社

東京営業部　TEL.03(5323)6611　FAX.03(5323)6622
大阪支店　TEL.06(6220)0500　FAX.06(6220)0601
(2017年8月移転)
横浜支店　TEL.045(985)7900　FAX.045(985)7901
東北営業所　TEL.024(534)2191　FAX.024(536)1518
筑波営業所　TEL.029(858)3700　FAX.029(858)3780
北関東営業所　TEL.048(667)1611　FAX.048(667)1656
千葉営業所　TEL.043(248)2441　FAX.043(248)2485
名古屋営業所　TEL.052(931)1761　FAX.052(931)1814
広島営業所　TEL.082(233)1101　FAX.082(233)1110
九州営業所　TEL.092(738)6633　FAX.092(738)6636

総合技術センター　TEL.04(2934)2121　FAX.04(2934)2128
カスタマーサポートセンター　TEL.04(2934)1100　FAX.04(2934)3361
福島工場　TEL.024(533)2244　FAX.024(534)2139

●掲載している価格には消費税が含まれていません。
●改良のため、型式、価格、仕様などにつきましては予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
●本カタログに掲載している会社名および製品名は、それぞれ該当する各社の商標、または登録商標です。
●本文中には TM および ® マークは明記しておりません。
●データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しましても、当社が責任を負うものではありません。また、記載事項につきましては、予告無しに改訂する場合がありますので、あらかじめご了承ください。　E

本　社 〒163-1130 東京都新宿区西新宿6丁目22番1号 新宿スクエアタワー30F
TEL.03(5323)6611　FAX.03(5323)6622
http://www.gls.co.jp　E-mail:info@gls.co.jp

安全に関するご注意
ご使用前には必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

AA730-20100816PDF